

# 福祉をもっと身近なものに——地域福祉



「福祉」—誰もが知っているこの言葉からあなたは何を連想しますか。

ボランティア、養護施設、老人ホーム…。

それらを自分とは別の世界の話だと思っている人がほとんどではないでしょうか。

今や日本は世界一の長寿国になりました。

それは平和と繁栄の象徴であると同時に、「高齢化社会」というかつて経験したことのない社会を予告しています。

もう「福祉」はある限られた人たちに関することではなくなっているのです。

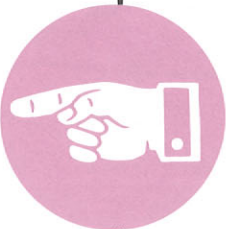
そこで今回はこの「福祉」の問題を、

熊本県ですすめられている「地域福祉」の取り組みを通して考えてみたいと思います。



## 「地域福祉」とは

人は高齢になっても、体が不自由になっても、住み慣れた環境の中で人々とともに生活したいと望んでいます。誰もが地域社会の一員として、住み慣れた家庭や地域社会において家族や地域の人々との暖かいふれ合いのなかで暮らすことのできる社会を実現すること—それが「地域福祉」なのです。そのような意味で「地域」とは「生活基盤」であり、「福祉」は「生活しないし」「暮らし」そのものと言えましょう。



## 地域の福祉ニーズは地域で解決

社会の変化が新しい状況を次々に生み出す中で、ある時は助ける立場にあった人が助けられる立場になる可能性もあります。人々が安心して家庭や地域で暮らせるためには、援助が必要な人に必要なときに対応できる援助システムをみんなで力をあわせて作りあげなければなりません。地域の福祉ニーズは地域で解決できること、それが地域福祉の目標です。そのためには行政機関、社会福祉施設、ボランティア、地域住民などが力をあわせ、福祉ニーズに対応できるネットワークを日頃から作っておくことが必要です。この地域福祉ネットワークの核になるのが「社会福祉協議会（社協）」なのです。

## 社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、地域住民の様々な生活問題の解決のため、各種の機関や福祉団体、住民などが集まって組織されている民間の自主的な団体です。一方には様々な福祉ニーズがあり、一方には様々な福祉施設や福祉サービス、ボランティアなどの社会資源があります。これらをうまく結びつけ、問題解決に生かしていくコーディネーターの役割を果たすことが協会の主な役割です。近所の一人暮らしのお年寄りが心配だ、なんとかしてあげたい、そんな小さなボランティアの気持ちを大きな力に育てていくことを協会は目指しています。



## ではどんな活動が

地域には様々な特性があり、それぞれの地域の福祉ニーズも個別的であり、画一的な方法では解決できません。各地域に合った熊本型地域福祉の在り方を見いだすことを目指して、熊本県では十三の市町村社協を実施主体に、地域の特性を生かしたモデル的な地域福祉活動として「ふれあい福祉のまちづくり」が進められています。その中から矢部町、人吉市、飽田町の取り組みをご紹介します。



校区社協・子どもとの交流会

## 矢部町

### あなたが主役 自分には何ができるか

昨年矢部町で、「ふれあい福祉と健康まつり」が行われた。昭和五十七年に開かれた社会福祉大会が前身となつて続けられてきたが、最近では商工会や農業団体などさまざまな団体が実行委員会に参加し、町をあげて取り組んでいる。町の人の関心も高く、祭りの楽しさとともに、福祉というものを自分の問題として、身近に感じ考える大切な場となっている。

矢部町の社協の活動の歴史は古い。緑川で遊ぶ子供達の安全を、と自然発生的に始まった保護者の見回りがきっかけとなり、町民の活動が盛んになってきたという。昭和四十五年に社協が法人化され、定例的に地区別福祉懇談会を開くなど、地域の人の意識の啓発に力を入れてきた。

昭和五十六年には町独自の地区福祉委員制度が発足した。一人暮らしのお年寄りを巡る近所の人、民生委員、行政、社協といったネットワークの中で、地区福祉委員は訪問活動や連絡調整などを行う。地区福祉委員を中心としたネットワークづくりは、地域福祉の

## ACTION



ふれあい福祉と健康まつり

取り組みのモデルとして注目された。

また、この制度に先立ち、町内十五の地区を対象にした「地域福祉活動推進モデル地区指定事業」もスタート。モデル地区に指定されることにより、

ふれあい祭りや運動会などのイベントや子供達とお年寄りの交流を図る花の一鉢運動、伝承遊びなどの地区独自の活動が生まれてきている。そして、地元の人や老人会などがそれらの活動に積極的に加わることで、住民一体となつて取り組む気運が更に高まっている。

「住民が懇談会や色々な行事に参加し、『自分には何ができるか』という気持ちを持ってそれぞれが持ち始めています。そんな意識をどのようにボランティアなどの活動に結びつけていくか。その土壌づくりが社協の役割だと思っています。」（矢部町社会福祉協議会 嘱託指導員 坂本陸男さん）